

## 第2回北薩地域振興の取組方針策定有識者委員会 議事の要点

### 1 日時

平成30年10月22日（月）14時～16時

### 2 場所

北薩地域振興局本庁舎 第5会議室(会議室棟3階)

### 3 出席者

#### (1) 有識者委員（13名）

山本委員，竹原委員，北村委員，今別府委員，永田委員，下川委員，大野委員，松木委員，増田委員，南原委員，京田委員，岩下委員，奈良迫委員

#### (2) 県(北薩地域振興局)（15名）

局長，総務企画部長，農林水産部長，建設部長，総務企画部（総務企画課長，総務企画課調整主幹，総務企画課地域振興係長），保健福祉環境部（健康企画課長，衛生・環境課長，地域保健福祉課長）農林水産部（農政普及課長，林務水産課技術補佐），建設部（土木建築課長，河川港湾課長），北薩教育事務所指導課長

### 4 北薩地域振興局大竹局長あいさつ

- ・ 県では本年3月，概ね10年後を見据えた中長期的な観点から，鹿児島を目指す姿や施策展開の基本方向などを明らかにする「かごしま未来創造ビジョン」を策定
- ・ ビジョンの策定を受け，北薩地域においても，地域の課題やポテンシャル，分野別の取組方針などを示す「北薩地域振興の取組方針」を策定する。
- ・ 取組方針の策定にあたり，地域の有識者から助言を得るため，委員会を開催する。1回目は7月2日に開催した。今回が2回目となる。
- ・ 今回は取組方針の事務局素案を示すので，御意見を賜りたい。
- ・ 本日の御意見を受け，事務局で取組方針の案を策定し，12月中にもう一度委員会を開催させていただく。

### 5 議事（大竹局長は座長席へ移動）

- (1) 北薩地域振興の取組方針素案説明（岩元総務企画課長）  
資料に基づき、「北薩地域振興の取組方針」素案を説明

(2) 質疑

【今別府委員】

- ・ 前回の委員会でも、農業・建設業などで人材が不足しているという話があったが、医療・福祉・介護の分野も人材不足が深刻である。
- ・ ベトナムなどの外国人の受入を検討しているが、基本給の確保、斡旋事業者への手数料の支払いといった金銭的負担に加え、実習生の生活環境の整備等の規制が厳しく、小さな事業所ではとても受け入れられない状況。1人、2人の実習生を受け入れても、研修を担当する職員も配置しなければならないため、労働力の確保策としては非常に厳しい。
- ・ 人材不足は、どの業種でも共通の課題。外国人の受入も規制が厳しく、課題も多い。労働力の確保についての取組の方向性も盛り込んでいただきたい。
- ・ 甕島のように、人口減少が顕著な地域では民間の事業所が成り立たなくなる。現状課題のところでは問題提起されているが、具体的な取組が見えない。  
例えば耕作放棄地をどのように解消するのかなど具体的な記載がないとなかなか理解できないのではないか。
- ・ また、広域的に取り組むべき課題についても明示していただきたい。

【局長】

- ・ 今の意見を踏まえて書き足せる部分を検討するが、外国人労働者の問題など、国レベル、県レベル全体で考えなければならない話であり、具体的な取組を記載できるほど熟度が高まっていないのではないか。
- ・ 耕作放棄地など中山間地域の問題については、今年度、県が新たな方針を作成する。また、10月25日には北薩局で同問題に関する意見交換を行うことから、その内容も踏まえ、記載内容を検討させていただきたい。

【奈良迫委員】

- ・ 避難場所の周知や防災教育など、地域コミュニティで行う必要がある。
- ・ 観光面では、北薩地域でも外国人が非常に増えてきているが、彼らはほとんど現金を持ち歩かない、キャッシュレス。中国人は6割～7割、韓国人は9割がクレジットカード等で精算する。

- ・ 外国人のキャッシュレスに対応できる店が増えていかないと経済効果が全くない。地方における外国人観光客のキャッシュレス化への対応が急務である。北薩は、高速道路や新幹線の駅があり外国人が訪れやすいので、対応できる施策を行ってもらうようぜひお願いしたい。
- ・ 情報発信に関しては、今はSNSの時代。各市町のホームページ等を4か国語で対応していくことが必要

#### 【山本委員】

- ・ かごしま未来創造ビジョンでは、教育関係でも人材不足の対応について記載されている。今回の北薩の取組方針素案では、記述が弱いようだ。
- ・ 素案「若者が都会で得た経験を生かした地域に戻って働き、活動しやすい地域づくり」はその通りだが、今後は出て行かないようにするための魅力ある施策を打ち出していくことが必要である。
- ・ 若者が定着しないというのは、大学や高校の責任でもある。学校は教育だけを行うのではなく、学校は地域にどのように貢献するのかということを考えなければならない。
- ・ 教育事務所は義務教育の所管ということであれば、若者を県外に流出させないため、局において家庭や企業・大学・専門学校・高校等をつなぎ連携を深める取組を盛り込めないか。

#### 【局長】

- ・ 人手不足が厳しいという話があり、私も管内の企業や経済団体、農業の仕事をしている方などを個別にお伺いしてお話を聞かせていただいた。
- ・ 自分は地元に残りたいが、親が県外を勧めるとか、景気が悪い時でも就職を受け入れてくれた県外企業との関係を邪険にはできない。といったケースがある。
- ・ 例えば、小・中学生の時に親子で地元の企業を見る機会を設ければ、親の理解も進んで、地元で働きたい人も増えるのではないかという意見もあった。
- ・ 例えば川内の踊り太鼓など、伝統芸能をやりたいから地元に残りたいという高校生もいるとの話も聞いた。御指摘の部分については、地元に着する方向を我々だけでなく、市町や教育事務所と一緒にできないかも含め、検討させていただきたい。

#### 【松木委員】

- ・ 素案には、外国人観光客への対応として、関係市町と連携し無料Wi-fi

の設置，他言語表記による観光案内板の設置，外国人専門旅行エージェントへの情報発信，多言語ホームページの充実を図ると記載されているが，外国人専門旅行エージェントや，パワーブロガーへの情報発信を図るとの記載を加えるのはどうか。

- ・ 昔は外国人の観光は団体旅行客だったが，今はどちらかという個人旅行。当店でも年々個人旅行客が増えている現状。

個人旅行客はFacebookやInstagramなどで情報をピックアップし，各々の行きたいところに行く流れになっている。

- ・ 外国人観光客への対応について，飲食業だけでなく様々なサービス業の間で，情報共有や連携ができる場を北薩地域で設けていただければ，受入体勢を整えることができると思う。

#### 【今別府委員】

- ・ 三県架橋や肥薩おれんじ鉄道に関する記載がなされていない。市町からも要望がなされていると思われるが，取り扱いはどうされるのか。

#### 【局長】

- ・ 本体のビジョンに記載されているので，取組方針にも記載させていただくような方向で検討させていただきたい。

#### 【永田委員】

- ・ 「北薩地域将来ビジョン」の検証結果がなされているが，具体的な検証になっていないように感じる。
- ・ 民生委員として地域の方々と毎日接している中で，高齢者の悩みというのは，年金，病院のこと。年金が少なく，何らか収入がほしいということである。
- ・ 県では，ボランティアを行う高齢者に対し，商品券などと交換できるポイントを与える事業や，団体に対して助成金を与える事業などを行っている。
- ・ 例えば，子ども達の登下校の時の見守りや，交通安全の立哨，ゴミ拾いなどを個人で行う際に，1回に100円とか50円とかパンが1個買えるぐらいでいいので，有償ボランティアとかそんな大げさな名前ではなく，ほんのちょっとした金額を高齢者の皆さんに支給できたら，楽しみも増えるのではないかな。

#### 【事務局】

- ・ 方向性を示す将来ビジョンについての検証結果を、具体的には示しにくいということについては、御了承いただきたい。

#### 【北村委員】

- ・ 北薩の良いところについての、情報が少ないようだ。
- ・ 地域おこし協力隊の活動について記載されているが、彼らは外から来た人であり、いずれ出て行くかもしれない。役所の職員をスキルアップするなど、地元の人材を生かす取組も必要である。

#### 【京田委員】

- ・ 農業従事者のほとんどは兼業農家で、野菜・果物農家も多いが、畑作や果樹の記載が少ないことが気になる。
- ・ 北薩は街よりも農村（むら）が多い。地域における「むら（農村）づくり」の視点に立った施策展開が必要である。

#### 【南原委員】

- ・ 農業と景観（保全）・観光は結びつくと考えている。観光地に向かうときに、道路沿いの雑草や耕作放棄地が多ければ、印象も悪くなる。耕作放棄地を解消し、農地を守っていくことが景観形成にも観光振興にもつながるはず。
- ・ 個人の取組だけではなかなか難しい。県や市の取組が必要。

#### 【増田委員】

- ・ 人材不足は建設業も同様。建設業は災害等に真っ先に対応する業種である。人材不足への対応をお願いしたい。
- ・ 国や県では、建設現場での週休2日制度を進めているが、市町の工事も同様に調整してもらいたい。

#### 【下川委員】

- ・ 県外で長く勤めていた経験からすると、鹿児島は情報発信・PRが苦手なようだ。西郷どんにしても、県全体として、今ひとつ盛り上がり欠ける。
- ・ 北海道における日本初のブラックアウト（全域停電）でわかるように、電気がないと暮らしていけない。太陽光発電についても、蓄電技術が高まらないと、出力規制を行うことになってしまう。
- ・ 技術開発は大切であり、産業との連携を盛り込んでほしい。

#### 【大野委員】

- ・ 川内川，八代海の記載だけでなく，阿久根・長島からの海岸線から望む眺望も記載してほしい。
- ・ 今からは田舎の時代。田舎の良さを，自分たちで楽しんでつくる，人材育成をポジティブな方向で行うことができればいい。

#### 【今別府委員】

- ・ 畑かん事業は用水代が高く，利用がしにくくなっている。
- ・ 農業振興については農協より銀行のほうが活発ではないか。銀行と連携した農業振興策を盛り込めないか。

#### 【奈良迫委員】

- ・ 観光でお金を落としてもらえるのは女性。イベントでも，食でもファッションでもいい，女性に来てもらえるような仕掛けが大切。

#### 【北村委員】

- ・ 子どものむし歯対策について，祖父母世代への教育が必要。
- ・ 太陽光発電施設の設置で，施工時に出た土砂が海に流出するなど環境に負荷を与えるケースもある。
- ・ 水産業など自営の小さな産業が大企業に飲み込まれることについての危機感がない人が多い。社員教育もきちんとしていくことが大事。

#### 【岩下委員】

- ・ 道路沿いの雑草は景観を損ねる。北薩に人を集めようとする中で，まちの魅力がなくなるのではないか。

#### 【竹原委員】

- ・ かがしま未来創造ビジョンについては，素晴らしいものがあると思ったが，知らない人も結構いる。もう少し広報の仕方を工夫してもいいのかなと思う。

#### 【永田委員】

- ・ 方向性を示すだけでは，一般の人には興味を持たれない。絵に描いた餅にならないように，具体的な施策を載せて，伝える必要がある。そうすれば興味を持ってもらえるのでは。（了）